

< 道路整備事業に係る >

要 望 書



積雪時、大規模な車両滞留が発生する一関市大槻交差点付近



積雪時の国道343号笹ノ田峠

国道4号一関平泉地区4車線化整備促進期成同盟会
広域道路・国道284号整備促進期成同盟会
国道342号整備促進同盟会
国道343号・広域幹線道路整備促進期成同盟会
新笹ノ田トンネル整備促進期成同盟会
栗原北上線県道昇格促進協議会
栗原北上線県道昇格整備促進期成同盟会

国道 343 号・広域幹線道路整備促進期成同盟会

〔一関市 大船渡市 陸前高田市 奥州市 平泉町〕

新笹ノ田トンネル整備促進期成同盟会

国道 343 号の整備促進について

国道 343 号は、陸前高田市から一関市を經由し奥州市を結ぶ幹線道路であり、内陸と重点港湾である大船渡港を結ぶ物流ルートであるとともに、「平泉の文化遺産」、「三陸復興国立公園」といった観光拠点を結ぶ観光ルートでもあります。

平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災では、沿岸部からの避難路、内陸部からの救援物資の輸送路として機能し、重要な役割を果たしました。

近年は、国内各地において、台風による大雨や水害などが頻発しており、非常時に安定して機能する道路ネットワークの構築は急務となっております。

令和 3 年 12 月には、国の復興道路に指定されている三陸沿岸道路が全線開通し、また国の復興支援道路に指定されている横軸の路線として、岩手県中央部では宮古みやこ盛岡もりおか横断道路が、県中部においては東北横断自動車道釜石秋田線かまいしあきたが高規格道路として整備されましたが、岩手県南部においても横軸となる道路ネットワークの構築を進めていく必要があります。

国道 343 号の整備については、平成 26 年 3 月には、一関市大東町大原地内の「大原バイパス」が、令和 3 年 3 月には、渋民地区しぶたみと大原地区を結ぶ「渋民バイパス」が供用開始となりました。そして現在、渋民バイパス沿線に新たな交流・防災拠点として「道の駅だいたいとう」の整備が着々と進められているところです。

これにより、安全で円滑な交通確保と内陸部と沿岸部の交流促進に向けて大きな弾みになるものと期待されております。

しかし、国道 343 号は、幅員狭小、急カーブ、急勾配など未整備箇所も多くあり、内陸と沿岸を結ぶ幹線道路として、より一層の整備促進が求められております。

さらに、新たな沿岸部のまちづくりに必要となる地域産業の再生と発展を力強く支援するため、主要な物流拠点や観光拠点を最短で結ぶ安全なルートの確立が急務となっております。

つきましては、このような状況をご理解いただき、次の事項について要望申し上げます。

記

- 1、新笹ノ田トンネルの早期事業化
- 2、陸前高田市^{やはぎちょうみみきり}矢作町^{うめき}耳切・梅木地区周辺の線形改良の事業化、一ノ渡^{いちのわたしばし}橋周辺の改良整備の事業化
- 3、一関市東山町^{ひがしやまちょうよこさわ}横沢から平泉町^{はこいしばし}箱石橋までの道路建設の事業化
- 4、奥州市水沢黒石町^{みずさわくろいしちょうつるぎ}鶴城^{おおくぼ}・大久保地区北上川治水対策事業と併せた兼用堤による改良整備の事業促進及び^{ふじばし}藤橋の歩道設置の事業化

令和6年10月29日

国道343号・広域幹線道路整備促進期成同盟会
会長 一関市長 佐藤善仁

